

みやわき・経済ヘッドライン(2026.4.20)(月2回発行)

《米国イラン戦争関連》

日本政策総研代表取締役社長
宮脇 淳

停戦関連	★以下のヘッドラインは、日本時間4.20の午前5:30現在の状況です。
	①米国による海峡封鎖にイラン反発。イラン発船舶の完全航行自由を主張し湾を再封鎖。トランプ氏、イラン交渉でパキスタンに代表団派遣「明日夜(日本時間20日)に到着」
	②米国の条件拒否ならばイランの橋と発電所を全て破壊とトランプ氏代表団派遣の一方で再び警告。イランと再交渉する姿勢も示す。ただし、イランは拒否姿勢。
	③4.18(現地時間)、イランがオマーン付近の商船を攻撃と英国海事機構が発表。
	④英仏主導のホルムズ安全航行任務、十数カ国が参加表明とし米イラン含まず。
	⑤トランプ大統領、停戦期間の再延長ないかもと発言。イラン「生意気」の発言。
	⑥米国、肥料確保へG20に協調要請、イラン紛争で米国内供給網混乱のため。
	⑦4月17日現地現在、米国との協議で依然大きな隔たり、核問題などイラン高官認識。
	⑧イラン、濃縮ウランの米移送「選択肢でない」とし米国と見解食い違い表面化。
	⑨トランプ大統領、イランの濃縮ウランを回収して米国に持ち帰ると主張。
	⑩核問題中心に米国とイラン大きな隔たり存在。イランは米国の交渉姿勢に不信感。
イスラエル	①レバノン大統領「いかなる合意でも領土割譲せず」、停戦後初演説で指摘。
	②レバノン南部で仏兵1人死亡、国連部隊に攻撃 ヒズボラ関与の可能性。
その他	①米国、ロシア産原油購入への制裁緩和を1カ月延長。